

お知らせ

記者発表日

平成30年9月7日

■同時発表先：

合同庁舎記者クラブ、岡山県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

国及び岡山県において 高梁川水系小田川等の緊急治水対策を実施

～平成30年7月豪雨により大きな被害を受けた小田川等で、
国及び岡山県で緊急的な治水対策『真備緊急治水対策』を実施します～

平成30年7月豪雨により各地で大きな被害が発生しましたが、特に、高梁川水系小田川沿川の岡山県倉敷市真備町では、堤防の決壊や越水等により甚大な被害を受けました。

このため、再度災害防止を図るために小田川等において、予備費等を活用して、今年度より、国・岡山県が連携して、『真備緊急治水対策』を実施します。別紙－1

- 現在進めている、小田川の水位を抜本的に引き下げる小田川合流点付替え事業の完成を前倒しし、小田川及び岡山県管理の末政川、高馬川、真谷川において重点的な堤防整備（嵩上げ、断面拡大）、洪水時の水位を下げるための河道掘削などのハード対策を河川激甚災害対策特別緊急事業として概ね5年間の2023年度を目標に実施します。
- 河川激甚災害対策特別緊急事業の他、河川大規模災害関連事業費をはじめとする、災害復旧費による本格復旧についても合わせて実施します。
- 今後、これらのハード対策のほか、『高梁川水系大規模氾濫時の減災対策協議会』において、関係機関が連携して、ソフト対策を追加していきます。

※本発表は、国土交通省記者発表『平成30年度国土交通省関係 予備費の使用について』を受け行ったものです。

【問い合わせ先】

〈国土交通省に関すること〉国土交通省 中国地方整備局 河川部

河川調査官 山内洋志（内線3513）

河川計画課長 和田紘希（内線3611）

代表：082(221)9231 夜間直通：082(511)6231

〈広報担当窓口〉国土交通省 中国地方整備局

広報広聴対策官 石下恭久（内線2117）

企画部 環境調整官 井上和久（内線3114）

〈岡山県に関するもの〉岡山県 土木部 河川課

治水班 総括主幹 黒原敏孝（内線3475）

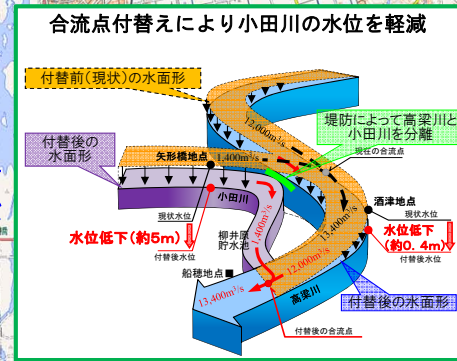
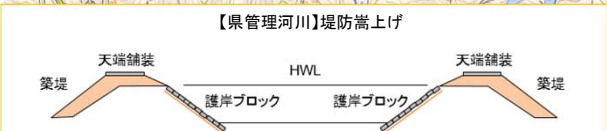
直通：086(226)7480

○概ね5年間で、平成30年7月豪雨を安全に流下させるために、集中的に実施する河川改修事業(いわゆる「激特事業」)等により、小田川合流点付替えを行うとともに、小田川の掘削・堤防強化等や末政川・高馬川・真谷川の堤防嵩上げ・堤防強化等を実施。

○今後、これらのハード対策のほか、平成28年8月に国、岡山県、倉敷市などの隣接市町で水防災意識社会の再構築を目的に立ち上げた「高梁川水系大規模氾濫時の減災対策協議会」において、関係機関が連携ソフト対策を追加。



	合流点付替え
	堤防嵩上げ・堤防強化
	掘削
	浸水範囲
	堤防決壊箇所



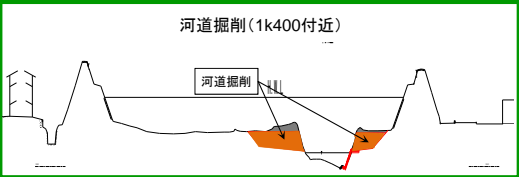
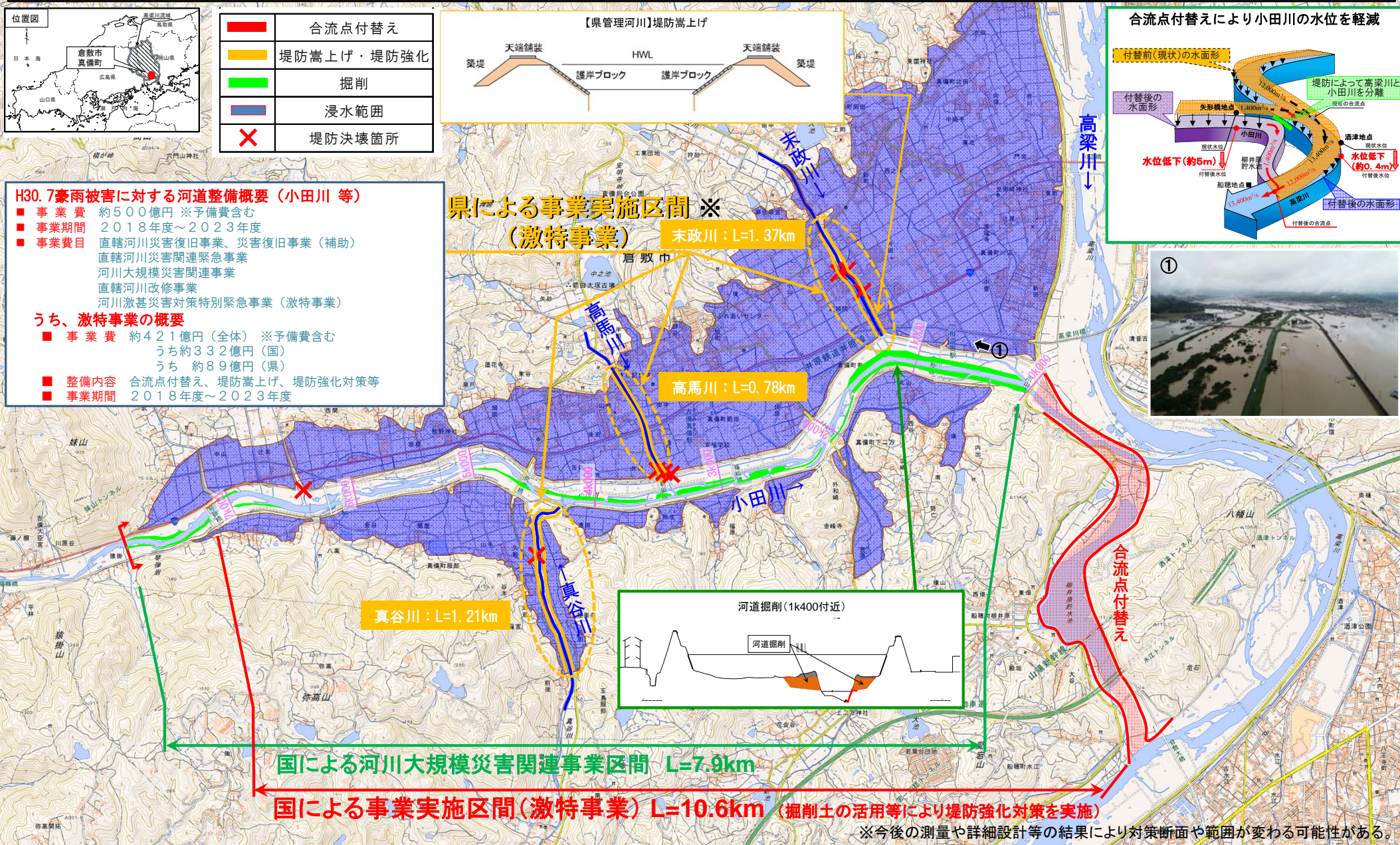
H30.7豪雨被害に対する河道整備概要 (小田川等)

- 事業費 約500億円 ※予備費含む
- 事業期間 2018年度～2023年度
- 事業費目 直轄河川災害復旧事業、災害復旧事業(補助)
直轄河川災害関連緊急事業
河川大規模災害関連事業
直轄河川改修事業
河川激甚災害対策特別緊急事業(激特事業)

うち、激特事業の概要

- 事業費 約421億円(全体) ※予備費含む
うち約332億円(国)
うち約89億円(県)
- 整備内容 合流点付替え、堤防嵩上げ、堤防強化対策等
- 事業期間 2018年度～2023年度

県による事業実施区間※ (激特事業)



国による河川大規模災害関連事業区間 L=7.9km

国による事業実施区間(激特事業) L=10.6km (掘削土の活用等により堤防強化対策を実施)

※今後の測量や詳細設計等の結果により対策断面や範囲が変わる可能性がある。